

食のイノベーション推進事業の取組状況について

1 要旨・目的

農業経営体の「稼ぐ力」を高めることを目的に、生産から販売に係る様々な企業と農業経営体が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発する取組を進める「食のイノベーション推進事業」について、取組状況を報告する。

2 現状・背景

県では、生産性の高い農業を取り入れて安定した所得を確保しながら、本県の農業をリードする企業経営体の育成支援を進めているが、その中で「異業種と連携したい」、「社会環境の変化をビジネスにつなげたい」など、新たなビジネスの創発を希望する意欲的な農業経営体が現れており、こうした経営体の経営発展を促すため、今年度より本事業を実施している。

3 概要

(1) 対象者

農業経営体及び食のイノベーションに関心がある事業者

(2) これまでの取組

ア 委託事業者の選定

【今年度の委託事業者】合同会社MHDF 代表社員 山中良太（東京都）

公募型プロポーザルにより、新たなビジネスにつながるニーズの発掘、事業構想の作成、農業経営体と企業のマッチングなどプロジェクトの立ち上げや、プロジェクトの実行計画に基づく現地実証等を支援する事業者を選定し、4月4日（月）に業務委託契約を締結した。

イ 参加事業者の募集

6月1日（水）より、本事業を推進する特設サイトを開設し、本事業に関心のある農業経営体や事業者の参加募集を開始した。

(ア) プログラム名称

Hiroshima FOOD BATON（ひろしまフードバトン）

(イ) 募集期間

令和4年6月1日（水）～7月15日（金）

(ウ) 特設サイト URL

<https://www.hiroshima-ouen.com/hiroshima-foodbaton>

(エ) 募集テーマ

- a いつも美味しい農作物の価値が味わえるビジネスの創出
- b 多品種・多商品型の地域食品加工サービスビジネスの創出
- c 顧客との共創で形作るコミュニティ価値訴求型ビジネスの創出
- d 「食」を楽しくする「農」体験ビジネスの創出
- e フードロス減らす新たなエシカル消費型ビジネスの創出
- f 環境価値を活用した食の循環経済ビジネスの創出
- g 多様な人材ネットワーク活用によるワークシェアビジネスの創出
- h 顧客ニーズに合った農作物を適時に安定供給できるビジネスの創出
- i その他

(オ) オンラインセミナー

6月8日（水）に本事業の内容や募集方法、個別相談等について説明するオンラインセミナーを開催した。セミナーの内容は、特設サイト内で閲覧できる。

ウ 個別相談会の開催

【実施日時】 令和4年6月9日（木）～7月12日（火）

【登録サイト】 <https://hiroshima-foodbaton-meeting.peatix.com>

【実施内容】 「企画書の磨き上げに向けた気付きを得たい」、「具体アイデアはないが意欲ある事業者とマッチングして欲しい」、「応募に当たっての疑問点を解決したい」、といった方々の相談の場を設置した。

(3) 今後の取組

ア プロジェクトチームの立ち上げ

事業構想の作成支援、農業経営体と企業のマッチング、プロジェクトの実行計画の作成支援を行い、秋までに3件程度のプロジェクトの立ち上げを行う予定である。

イ プロジェクトの実行計画に基づく新たなビジネスの実現

- ・新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決支援
- ・現地実証に係る経費の支援（今年度最大300万円/件）

【支援件数】 3件程度

【支援期間】 最長3年

(4) 予算（単県）

50,000 千円